

事業所名 fun (児童発達支援)

支援プログラム

作成日

R6

年

7月

25日

法人(事業所)理念	ひとり一人を認め合う(その未来を見据えた福祉)				
支援方針	個々に合わせて先を見据えた支援を提供する。 共に職員が成長し質の高い支援の向上を目指す。 当事業所の5領域の提示としては、毎月の月間活動カレンダーに掲載。				
営業時間	9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無
					あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	【ねらい】(健康状態の維持・改善生活習慣や生活リズムの形成、基本的生活の獲得) ・着替えや食事、トイレ、片付けなど日常生活に必要な動作やスキルをつけるためのトレーニングをします。 ・基本的な生活リズムを身に付けられるように障がいの特性や発達段階に合わせてサポートします。			
	運動・感覚	【ねらい】(姿勢と運動・動作の基本的技能の向上。姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用。感覚の補助及び代行手段の活用と感覚の特性への対応。) ・サーキットトレーニングやストレッチ・ダンス・バランスボール等粗大運動やシール貼り・ブロック、粘土遊び、ぬりえなどの指先の巧緻性を高める微細運動を通して上手な身体の使い方学びます。			
	認知・行動	【ねらい】(認知の特性についての理解と対応。対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得(感覚の活用や認知機能の発達、近からの行動への認知過程の発達、認知や行動の手がかりとなる概念の形成)行動障害への予防及び対応。) ・朝、帰りの会でのあいさつ、着席、お友達を見て模倣する。色や形、数、大小などの基本的な概念を学ぶ。概念を理解することは難しいため実際に操作したり、視覚的な支援。			
	言語 コミュニケーション	【ねらい】(コミュニケーションの基礎的能力の向上。言語の受容と表出、形成と活用。人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得と手段の選択。読み書き能力の向上。) ・要求、伝える、聴く、人と関わりながら模倣することで意識し言葉の表出につなげる。 ・言葉だけでなく絵カード、ジェスチャーなど子どもに合った方法でコミュニケーションの確保をしていく。			
	人間関係 社会性	【ねらい】(一人遊びから協同遊びへの支援。模倣行動から集団への参加の支援。) ・一人遊びの状態から大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担をしたりルールを守って遊ぶ協同遊びを通して社会性に発達を支援する。 ・遊びを通じて人の動きを模倣することで人を意識して対人関係の芽生えを支援する。			
家族支援	【ねらい】(家族が安心して子育てを行えるように、家族(きょうだいを含む)日頃から信頼関係を構築し、障がいの特性に配慮し丁寧な家族支援をしていく)。 ・保護者面談、送迎時や連絡帳を通して困りごとや現在の情報共有を行い不安や負担の軽減。	移行支援	【ねらい】(こども園等の併行利用している場合における併行利用先との連携。地域における仲間づくり)。 家族への情報提供や移行先の見学調整。併行利用の場合の利用日数や利用時間等の調整。		
地域支援・地域連携	【ねらい】(通所する子どもに関わる地域の関係者・関係機関と情報連携や支援方法、環境調整等に関する相談援助、支援計画の作成または見直しに関する会議の開催)。 ・ネットワーク会議、こどもネットへの積極的な参加。 ・他事業所との情報交流・療育センター等専門機関との連携	職員の質の向上	職員への各種研修会の実施 各種資格取得支援制度		
主な行事等	季節、行事を感じる散歩 秋祭り・クリスマス会 親子あそび、おしゃべり会				